



24Vダクトレールシリーズ 取扱説明書

保管用

このたびは **Motom** (モトム) 24Vダクトレールシリーズ製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

安全上のご注意

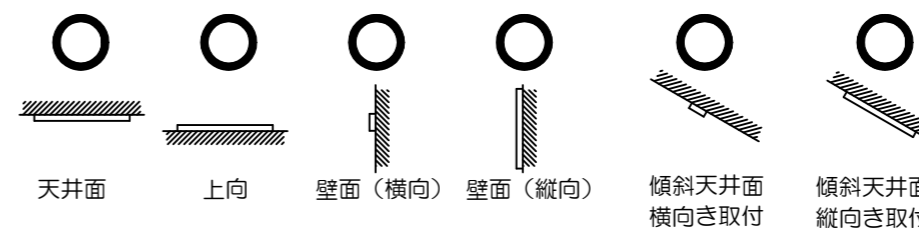
必ずお守りください。
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 工事店様へ
 - ・照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。
 - ・工事終了後、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。
- お客様へ
 - ・この器具の取り付け、取り外しには資格が必要です。取り付け、取り外しは販売店、工事店に依頼してください。
 - ・お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。	
▲ 警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	▲ 注意「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)	
⊘ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。
警告	❗ 必ず守る <ul style="list-style-type: none"> ●この器具の取り付け、取り外しには資格が必要です。取り付け、取り外しは、販売店・工事店に依頼してください。 ●指定電源を使用し直流24ボルト使用してください。 指定外の電源・過電圧を加えると、動作不具合、火災・感電のおそれがあります。 ●他社製品と組み合わせて使用することでどのような不具合が発生するか想定できない為、必ず指定の組み合わせで ご使用ください。 ●異常を感じた時は速やかに電源を切ってください。 異常状態が収まったことを確認し、弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。
	⊘ 禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●この器具は、天井・壁面・上向の取付専用です。 指定以外の取り付けを行うと火災・落下の原因となります。 ●この器具は屋内専用です。軒下及び湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。 絶縁不良、感電の原因となります。 ●この器具は激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所には使用できません。 絶縁不良、器具落下の原因となります。 ●暖房器具、ガス器具等の真上付近の温度の高い場所では使用しないでください。 点滅不良、火災、感電の原因となります。 (この器具は5~35℃の温度範囲で使用するように設計されています。) ●人がぶら下がったり、踏みつけたり、引っ張ったり、押し下げるような場所には取り付けしないでください。 落下や破損、やけどの原因となります。 ●ぬれた手でダクトレール、電源、器具、配線に触らないでください。感電のおそれがあります。 ●布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしないでください。火災のおそれがあります。 ●器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災、感電のおそれがあります。 ●器具を分解・改造したり、部品交換をしないでください。火災、感電によるけがのおそれがあります。
注意	❗ 必ず守る <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
	⊘ 禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●センサーと組み合わせた場合、ちらつく場合があります。 ●器具にもたれたり物をぶつけたりしないでください。器具破損の原因となります。

取付に関する注意

必ず指定の場所に取り付けてください。



お問い合わせ窓口

■商品のご購入に関してのお問い合わせ

TEL 03-5786-0745 平日10:00 ~ 17:00 (土日祝日除く)

商品のご購入 <https://shop.motom-jp.com>

お問い合わせ E-mail: sale@olympia-jp.co.jp

■その他・操作・仕様などに関してのお問い合わせ

TEL 0256-92-7070 平日10:00 ~ 17:00 (土日祝日除く)

FAX 0256-92-3312



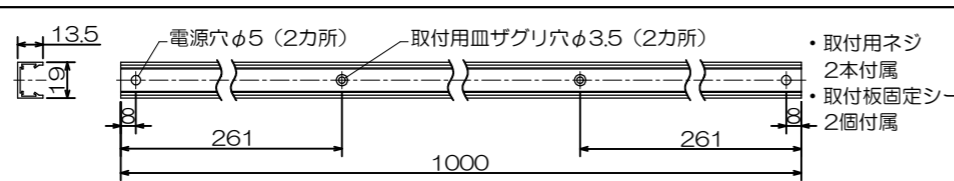
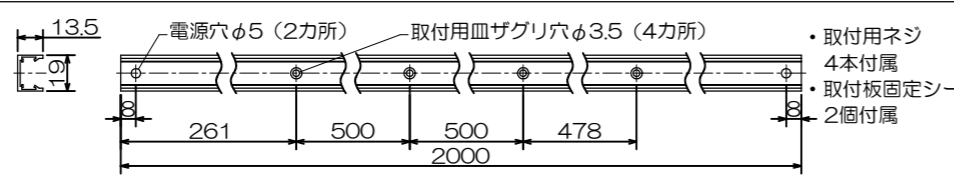
オリンピア照明株式会社

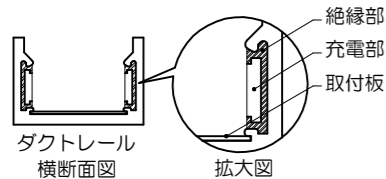
〒107-0062 東京都港区南青山4丁目1番15号アルテカベルテプラザ2F

製品仕様

※製品の仕様は予告なく変更することがあります。

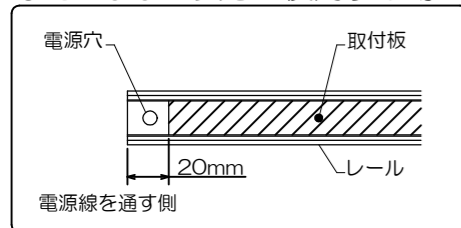
ダクトレール ダクトレールはお好みの長さに合わせて切断ができます。

品番	色	長さ	仕様
GOP035W-1000	白	1M	 <p>電源穴φ5 (2カ所) 取付用皿ザグリ穴φ3.5 (2カ所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付用ネジ 2本付属 取付板固定シール 2個付属
GOP035B-1000	黒		
GOP035W-2000	白	2M	 <p>電源穴φ5 (2カ所) 取付用皿ザグリ穴φ3.5 (4カ所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付用ネジ 4本付属 取付板固定シール 2個付属
GOP035B-2000	黒		

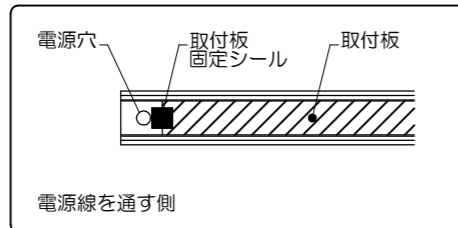


注意	故障の原因となります。
ダクトレールを施工する時は付属の取付用ネジを使用してください。他のものを使用する場合はネジ頭径5.5以下で、取付用ザグリ穴におさまるものを選定してください。	

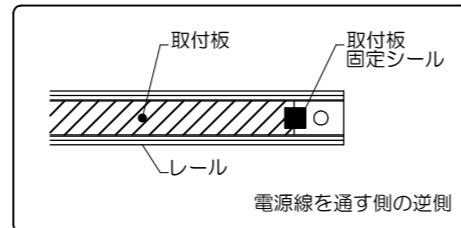
●そのままの長さで使用する場合



①電源線を通す側の端から、20mmの位置に取付板があることを確認します。また、取付板の穴とレールの取付用ザグリ穴の位置が一致していることを確認してください。

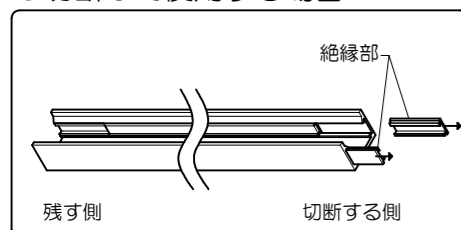


②電源穴をふさがないように、取付板とレールを取付板固定シールで固定します。

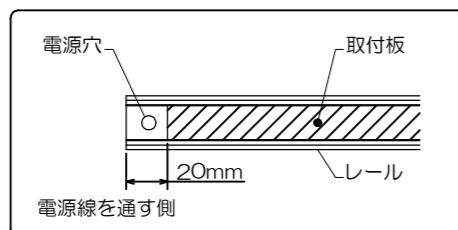


③電源線を通す側の逆側の取付板とレールも同様に、取付板固定シールで固定します。

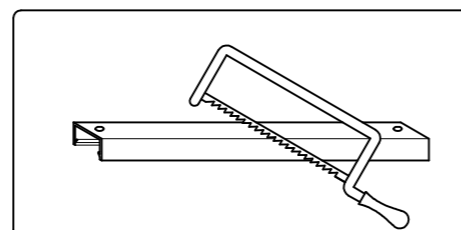
●切断して使用する場合



①切断する側の絶縁部をとりはずします。(2カ所)

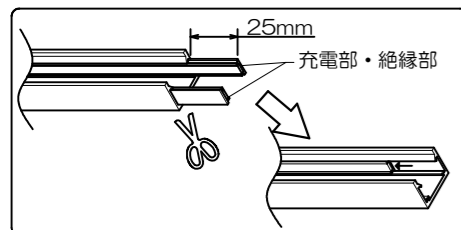


②電源線を通す側の端から、20mmの位置に取付板があることを確認します。また、取付板の穴とレールの取付用ザグリ穴の位置が一致していることを確認してください。

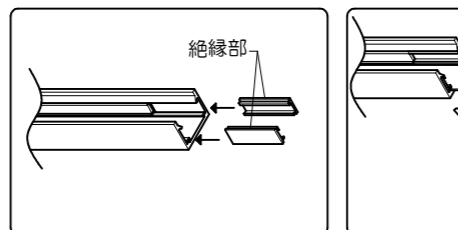


③金のこ(手のこ)を使用し、開口部を下向きにしてダクトレールを切断してください。

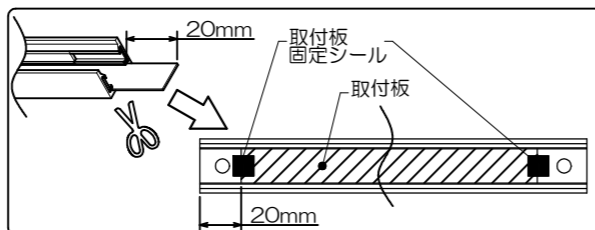
※電動工具を使用する場合は変形しないように丁寧に切断してください。
※切断部の加里、切粉は丁寧に取り除いてください。



④充電部・絶縁部を引き出し、金切ハサミなどで25mm切断し、レール内に戻し入れます。



⑤1で取り外した絶縁部を差し込みます。



⑥取付板をダクトレールから20mm程度引き出し、金切ハサミなどで切断して、レール内に戻し入れ、取付板の穴とレールの取付用ザグリ穴の位置が一致していることを確認します。「●そのままの長さで使用する場合②③」に従って、取付板固定シールを貼り付けて取付板を固定します。

※カットにより取付用穴が不足の場合は穴を開けることも出来ます。この場合切粉は丁寧に取り除いてください。

使用上のご注意

●定期的にレールへの取付状態を点検してください。

お手入れについて

- お手入れの際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布で拭きとるか、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください。

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	①電源がOFFになっている ②器具がレールから外れている	①電源をONにする ②器具をレールに確実に取り付ける
使用中にランプが消える	電源の瞬間的な停電または電圧低下	一旦電源を3秒以上OFFにしてから点灯させる

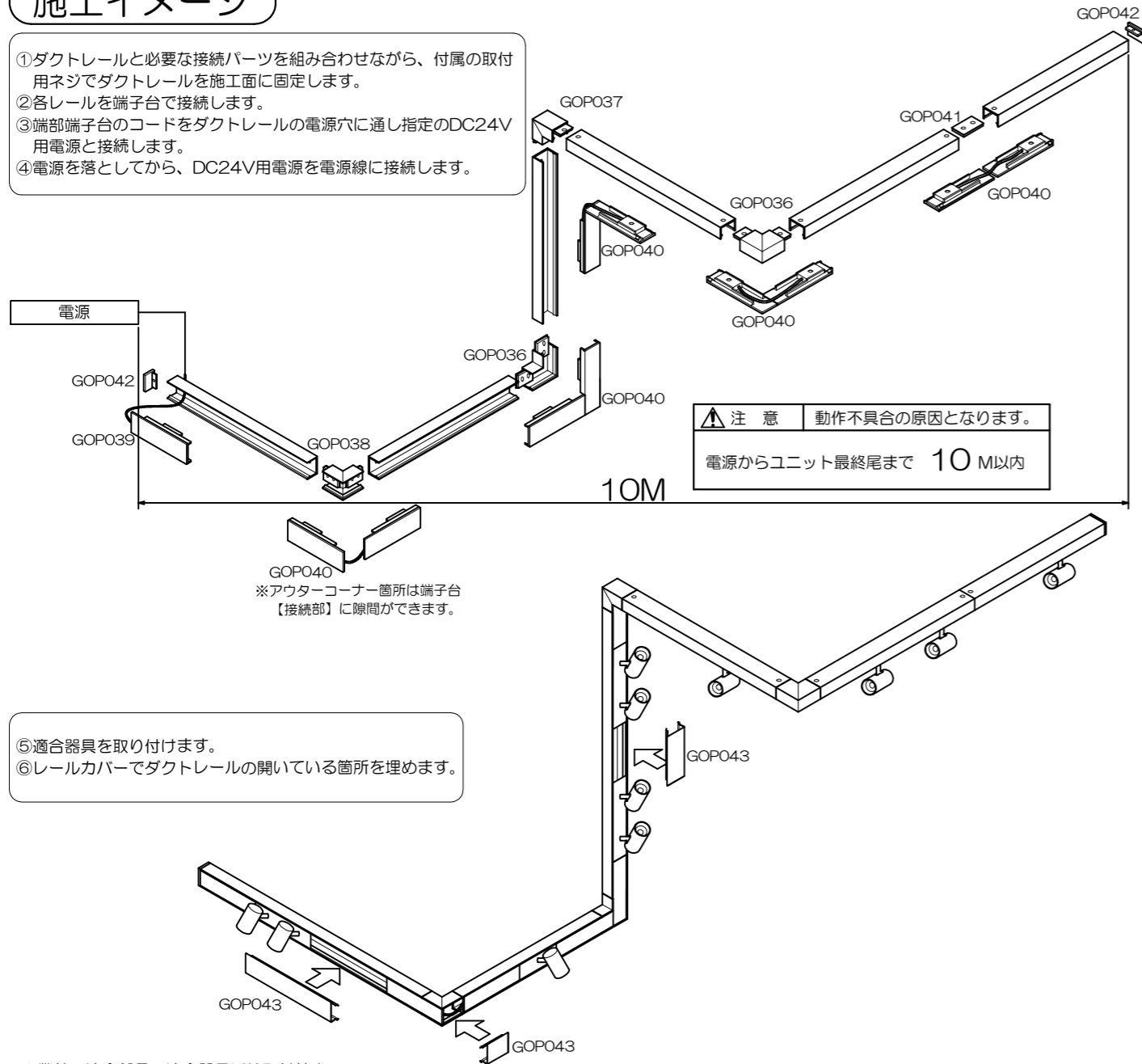
上記の点検でなお異常のある場合は、必ず電源を切り、弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

■アフターサービスについて

ご不明な点は弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

施工イメージ

- ①ダクトレールと必要な接続パーツを組み合わせながら、付属の取付用ネジでダクトレールを施工面に固定します。
- ②各レールを端子台で接続します。
- ③端部端子台のコードをダクトレールの電源穴に通し指定のDC24V用電源と接続します。
- ④電源を落としてから、DC24V用電源を電源線に接続します。



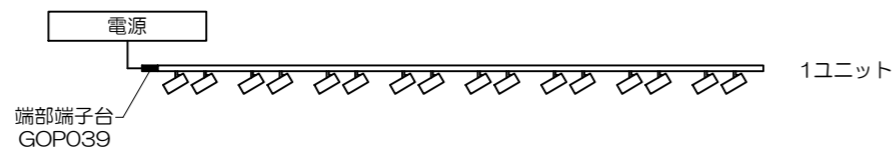
GOP040
※アウターコーナー箇所は端子台【接続部】に隙間ができます。

- ⑤適合器具を取り付けます。
- ⑥レールカバーでダクトレールの開いている箇所を埋めます。

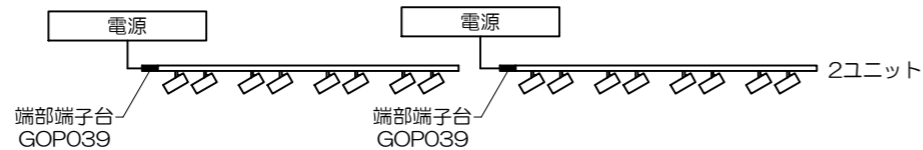
※弊社の適合部品、適合器具以外取付禁止
※照明器具の取り付けは電源による器具取付総電気容量以内のこと

例：GSP001DWL2-2（消費電力7W）を8台取り付ける場合（総電力56W）

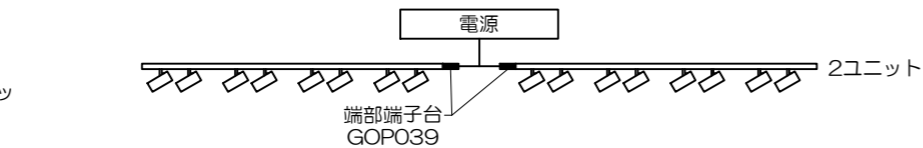
✕ 端部端子台GOP039は最大負荷電力54Wまでなので、1ユニットに全数取り付けることは不可。



○ 2ユニット以上に分けて端部端子台GOP039を2個使用し、それぞれの総電気容量に適した電源を使用して取付可



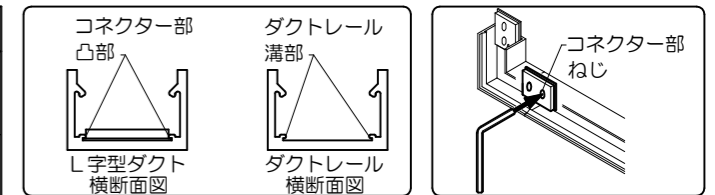
○ 2ユニット以上に分けて端部端子台GOP039を2個使用し、各々のユニットの総電気容量に適した1台の電源につなげて使用して取付可



L字型ダクト

ダクトレールをL字に接続します。

品番	色	仕様
GOP036W	白	コネクタ部 コーナー用
GOP036B	黒	コネクタ部 コーナー用
GOP037W	白	コネクタ部 L字型ダクト コーナー用
GOP037B	黒	コネクタ部 L字型ダクト コーナー用
GOP038W	白	コネクタ部 アウターコーナー用
GOP038B	黒	コネクタ部 アウターコーナー用

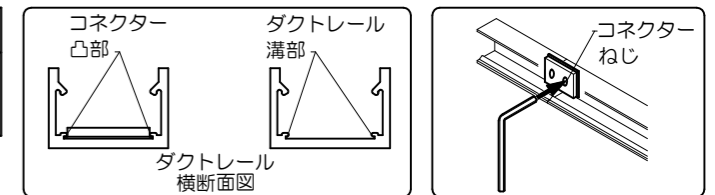


- ①L字型ダクトのコネクタ部凸部をダクトレールの溝部に差し込みます。
- ②コネクタ部のねじを付属のレンチで締め付けて固定します。

コネクタ

ダクトレールをストレートに接続します。

品番	色	仕様
GOP041W	白	コネクタ部 ストレート用
GOP041B	黒	コネクタ部 ストレート用

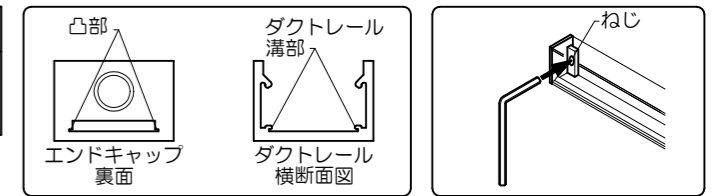


- ①2本のダクトレールの溝部にコネクタ部凸部を差し込み、つなぎ合わせます。
- ②コネクタ部のねじを付属のレンチで締め付けて固定します。

エンドキャップ

ダクトレールの両端に使用します。

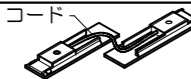
品番	色	仕様
GOP042W	白	エンドキャップ 裏面
GOP042B	黒	エンドキャップ 裏面



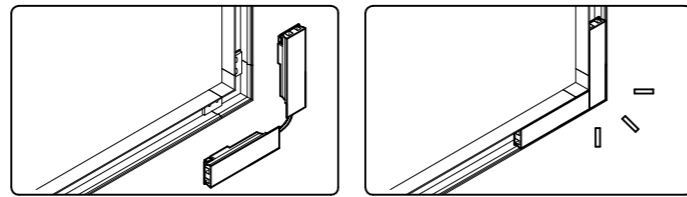
- ①エンドキャップの裏面凸部をダクトレールの溝部に差し込みます。
- ②エンドキャップのねじを付属のレンチで締め付けて固定します。

1ユニットのダクトレール両端に必ず使用してください。

■ 端子台【接続部】 ダクトレールとダクトレールをつなぎ通電出来るようにします。

品番	色	仕様
GOPO40W	白	
GOPO40B	黒	

L字型ダクトやコネクターでダクトレールをつなぐだけでは通電出来ません。必ず端子台で接続してください。

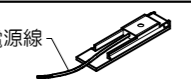


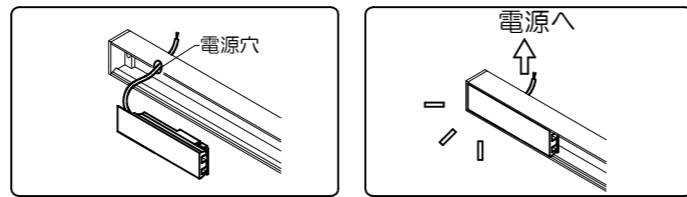
- ①コネクターやL字型ダクトで連結したダクトレールに端子台を差し込み接続します。
- ②ダクトレールに端子台が確実に差し込まれ、表面が平らになっていることを確認します。

警告 火災の原因となります。

コネクターとダクトレールでコードを挟まないようにしてください。

■ 端子台【端部】 1ユニットの最端部を電源に繋ぐ為の部品です。

品番	色	仕様
GOPO39W	白	
GOPO39B	黒	

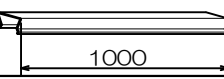


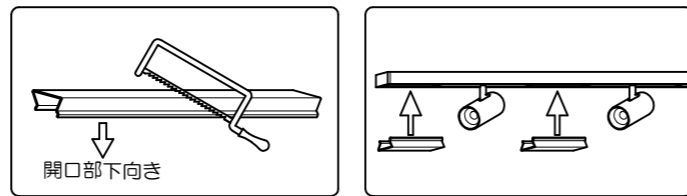
- ①ダクトレールの電源穴に端子台の電源線を通します。
- ②ダクトレールに端子台が確実に差し込まれ、表面が平らになっていることを確認します。電源線を指定の電源に接続します。電源線の赤を電源の「+」に接続してください。

警告 火災の原因となります。

最大負荷電力 **54W**まで
器具消費電力合計が54Wを超える場合はユニットを分けてそれぞれに端子台を使用してください。

■ レールカバー ほこりの侵入を防ぎ、見た目をより美しくします。

品番	色	仕様
GOPO43W	白	
GOPO43B	黒	



- ①金のコ(手のコ)を使用し、開口部を下向きにして切断してください。電動工具を使用する場合は変形しないように丁寧に切断してください。切断部のカエリ、切粉は丁寧に除去してください。
- ②切断したレールカバーをダクトレールに取り付けます。

警告 火災・落下の原因となります。

器具落下と、ホコリの侵入を防ぐ為にレールカバーを必ず取り付けてください。

■ DC24V用電源 詳細は各電源の取扱説明書をご確認ください。

容量	品番	器具取付総電力容量	調光
30W	GOPO16	21Wまで	PWM調光対応 調光器GOPO50推奨
60W	GOPO17	42Wまで	
90W	GOPO18	63Wまで	
150W	GOPO19	105Wまで	調光非対応
76W	GOPO45	53Wまで	
96W	GOPO46	67Wまで	
150W	GOPO47	105Wまで	

- 電源の施工に関しては、電気設備技術基準・内線規程に従ってください。
- 必要に応じて適した方法でアース線を設置します。
- 調光器を使用しない場合は調光信号線は必ず絶縁処理をおこなってください。
- 電源は重量に耐えられる場所に取り付けてください。
- 電源設置場所には周囲に十分な空間が必要です。
詳細は各電源の取扱説明書をご確認ください。
- 端子台で接続したひとつのレールユニットに対してはひとつの電源を使用してください。

警告 火災の原因となります。

電源の周囲は熱がこもらないようにしてください。

